

IP アドレス または ホスト名から FQDN 形式に CUCM サーバーの定義を変更して下さい

目次

[概要](#)

[背景説明](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[手順](#)

[前変更タスク](#)

[設定](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

概要

この資料はプロシージャを IP アドレス または ホスト名 形式から完全修飾ドメイン名 (FQDN) 形式に Cisco Unified Communications Manager (CUCM) クラスターの定義を変更する方法を記述したものです。

背景説明

CUCM にノードの間でおよびエンドポイントと通信するために選択するオプションがかどうか IP アドレスかドメイン ネーム サービス (DNS) を使用するためにあります。

pre-10.x システムに関しては推奨事項は特定の設計が必要条件によって必要とならなければ DNS 信頼を使用することではなかったです。

CUCM と Cisco Unified Communications Manager IM & プレゼンスサービス (間の緊密な統合による CUCM 10.x から始まって推奨事項が変更した IM&P)。 ない基本的な IP テレフォニーの DNS を使用して配備がまだ受諾可能な間、IP アドレスの代りの完全修飾ドメイン名の使用方法ははたらくいくつかの主な特徴のための要件になりました:

- 単一 サインオン (SSO)
- ユーザ登録 オート デイスカバリを必要とする Jabber 配備
- セキュア シグナリングおよびメディアのための認証ベース セキュリティ

信頼できる接続を設定するために、クライアントは認証を示すサーバの識別を確認する必要があります。

クライアントは 2 つのステップで検証を行います:

- 第一歩でクライアントはサーバ証明が信頼ストアことをに検知によって信頼されるかどうか確認します。 この ID証明が ID証明に署名するのに使用された認証局 (CA) 認証がクライアントの信頼ストアにある場合、認証は信頼されるとして考慮されます。

- 第2ステップでクライアントはローカルクライアント 設定のサーバの識別に対して認証のサーバの identity をチェックします。すなわち、クライアントは認証および接続要求のサーバ名が同じであることを確認します。

認証のサーバの識別は Common Name アトリビュート (CN) または受け取った認証の認証対象代替名 (SAN) アトリビュートから得られます。

注: SAN は、もしあれば、CN に優先します。

ローカルコンフィギュレーションのサーバの識別は Trivial File Transfer Protocol (TFTP) によってダウンロードされるデバイス コンフィギュレーション ファイルからおよび/またはユーザのデータ サービス (UDS) 相互対話から得られます。TFTP および UDS サービスはデータベース processnode 表からこの設定を得ます。それは **CM Administration > System > Server Web** ページで設定することができます。

サーバが OS Administration > 設定 > サーバのためのネットワークパラメータが設定されている、IP イーサネットと、定義されている CM Administration > System > Server ページを混同しないで下さい。サーバの OS 管理 ページ影響実際のネットワークコンフィギュレーションのパラメータ; ホスト名またはドメイン変更はノードのためのすべての認証の再生成の原因となります。CM 管理 ページの設定は CUCM がコンフィギュレーション ファイルが UDS によってエンドポイントにそれ自身をどのようにアドバタイズするか、定義します。この設定の変更は認証再生成を必要としません。この設定はノードの次のいずれかのネットワークパラメータを一致する必要があります: IP アドレス、ホスト名または FQDN。

たとえば、エンドポイントは server.mydomain.com に安全に接続します。それは受け取った認証を検知し、「server.mydomain.com」が CN か SAN としてこの認証にあるかどうか確認します。チェックが成功しない場合、接続は失敗しますまたはエンドユーザはクライアントの機能性によって信頼できない認証を、受け入れることを頼むポップアップ メッセージを得ます。認証の CN におよび SAN に一般的に FQDN 形式があるので、これらの popups が接続障害を防ぎたいと思う場合 IP アドレスから FQDN 形式にサーバーの定義を変更する必要があります。

前提条件

要件

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CUCM 10.X またはより高く

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

手順

前変更タスク

前提条件は満たされるようにするために設定がそれ強く推奨されている前に。

ステップ 1: DNS 設定をチェックして下さい。

DNS サービスが設定され、ノードネームのための FQDN がエントリ ローカルでおよび外部に解決することができるようにする CUCM CLI からこれらのコマンドを実行して下さい。

```
admin:show network eth0
<omitted for brevity>
```

```
DNS
Primary : 10.48.53.194 Secondary : Not Configured
Options : timeout:5 attempts:2
Domain : mydomain.com
Gateway : 10.48.52.1 on Ethernet 0
```

```
admin:utils network host cucml05pub.mydomain.com
Local Resolution:
cucml05pub.mydomain.com resolves locally to 10.48.53.190
```

```
External Resolution:
cucml05pub.mydomain.com has address 10.48.53.190
admin:
```

ステップ 2.ネットワーク 診断テスト。

ネットワーク 診断テストがこの CLI コマンドのことを実行を渡されるようにして下さい。

```
admin:utils diagnose module validate_network
```

```
Log file: platform/log/diag3.log
```

```
Starting diagnostic test(s)
=====
test - validate_network : Passed
```

```
Diagnostics Completed
```

ステップ 3.エンドポイントのための DHCPコンフィギュレーション。

登録済みの電話が DNS 解決をされることができるように必要なダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル 設定が追加されるようにして下さい。

ステップ 4.データベース複製。

CUCM データベース複製がはたらいっていることを確認して下さい。 クラスタ 複製状態はすべてのノードのための 2 である必要があります。

```
admin:utils dbreplication runtimestate
<output omitted for brevity>
Cluster Detailed View from cucml05pub (2 Servers):
PING DB/RPC/ REPL. Replication REPLICATION SETUP
```

SERVER-NAME IP ADDRESS (msec) DbMon? QUEUE Group ID (RTMT) & Details

cucm105pub 10.48.53.190 0.027 Y/Y/Y 0 (g_2) (2) Setup Completed
cucm105sub1 10.48.53.191 0.292 Y/Y/Y 0 (g_3) (2) Setup Completed

ステップ 5.バックアップ。




現在のセットアップの Cisco ディザスタ リカバリ システム (DR) バックアップを実行して下さい。

設定


IP アドレスから Cisco Unified CM 管理Webページの FQDN 形式に IP アドレス (かホスト名を) 変更して下さい。

ステップ 1. **System > Server** にナビゲートし、IP アドレスから FQDN にホスト名/IP Address フィールドを変更して下さい。

Server Configuration

 Save  Delete  Add New

Status

 Status: Ready

Server Information

Server Type	CUCM Voice/Video
Database Replication	Publisher
Host Name/IP Address*	<input type="text" value="cucm105pub.mydomain.com"/>
IPv6 Address (for dual IPv4/IPv6)	<input type="text"/>
MAC Address	<input type="text"/>
Description	<input type="text" value="cucm105pub"/>

Location Bandwidth Management Information

LBM Intercluster Replication Group [View Details](#)

ホスト名は **show status** から得、ドメインは示しますネットワーク **eth0** コマンド 出力をから得ることができます。

ステップ 2.リストされているすべての CUCM サーバのためののためのステップ 1 を繰り返して下さい。

ステップ 3.コンフィギュレーション ファイルをアップデートするため、すべての CUCM ノードの再始動 Cisco TFTP サービス。

ステップ 4.更新済コンフィギュレーション ファイルを登録済みの devices に押すため、すべての CUCM ノードの再始動 Cisco CallManagerサービス。

検証

すべてのエンドポイントが CUCM ノードと正常に登録されたことを確認して下さい。

これを実時間監視 ツール (RTMT) ヘルプと達成することができます。

他のサーバとの統合が SIP によって、SCCP、MGCP プロトコルあれば-サードパーティサーバで設定が必要となるかもしれません。

CUCM クラスタのすべてのノードへの変更が正常に伝搬し、出力がすべてのノードを渡って同じであるようにして下さい。

すべてのノードのこのコマンドを実行して下さい。

```
admin:run sql select name,nodeid from processnode
name nodeid
=====
EnterpriseWideData 1
cucml105pub.mydomain.com 2
cucml105sub1.mydomain.com 3
imp105.mydomain.com 7
```

関連情報

- [Linux アプライアンス モデルの CUCM データベース複製のトラブルシューティング](#)